

2022年3月1日

健保組合 組合員のみなさま

ポーラ・オルビスグループ健康保険組合
ポーラ・オルビスグループ健康経営
ポーラ がん共生プログラム



健康診断における「胸部 CT 検査」の新規導入につきまして（お知らせ） **<55 歳以上の方対象>**

2022年4月以降の健康診断から、肺がんの早期発見を目的としたオプション検査として「胸部 CT 検査」を費用補助対象に加えることになりましたので、その概要をお知らせ致します。

1. 主旨

- 1) 我が国の全てのがんの中で、肺がんの死亡率（2019年）は、男性1位、女性2位となっています。肺がんの多くは自覚症状がなく進行するため早期発見がむずかしく、通常の定期健診で法定検査として行われる「胸部レントゲン検査」では早い発見に限界があると言われています。そこでこれを補完する目的で、より精度の高い検査を新規に導入することとしました。
- 2) 胸部 CT 検査は検査費用も高額になりますが、がん対策を強化するポーラ・オルビスグループとして採用するものです。
- 3) 肺がんの患者は若年者では少なく、60歳代から急激に増加するため、リスクの高まる高年齢層の方へのオプション検査として実施し、補助を行います。

2. 胸部 CT 検査の特長・受け方 **CT = コンピュータ断層映像 (Computed Tomography)**

- 1) CT 検査装置の検査台の上で横になり、X線を照射して検査を行います。数ミリ幅で輪切りにした多方向・多数の断面画像を撮影し(マルチスライス)、それを合成したものにより診断します。
- 2) レントゲン検査では発見しにくい、小さな病変や淡く映る病変、心臓などの臓器の裏に隠れた異変を見つけやすい。
- 3) 検査時間は健診機関によりますが、5分～10分程度（照射は約10秒）で済み、痛みはありません。
- 4) 健康診断でのCT検査は、造影剤は使用しません。

(参考) がんと検査・治療の情報 国立がん研究センターサイト「がん情報サービス」
<https://ganjoho.jp/public/cancer/lung/index.html>

3. 補助対象年齢

- ・**55歳以上**の加入者で、希望する方。
* 年度末（今回は2023年3月31日）までに55歳以上に到達する被保険者及び被扶養者

4. 自己負担金額

- ・**5,500円**
* 検査費用の総額は9,000円～20,000円で、差額は健保組合が負担します。

5. 補助・受診の頻度

- ・毎年1回、補助により受診できますが、隔年または数年に一度の受診が一般的です。

6. 受診を特に推奨する方

- ・喫煙者、とりわけ喫煙期間が長い**ヘビースモーカー**の方で、肺がんの罹患が増加する **60 歳以上**の方、及び受動喫煙の可能性のあるその同居家族。

7. この検査を受けられない方

- ・体内に精密機器（心臓のペースメーカーなど）が埋め込まれている方。
- ・妊婦や妊娠している可能性のある方。
- ・その他、気になる場合はご自身の主治医や健診機関にご相談ください。

8) この検査のメリットとデメリット

すべての検査にはメリットとデメリットがあります。総合的に見たときに、メリットの方が十分大きいとの考えから検査を実施するものですが、自身でもご確認ください。

1) メリット

胸部レントゲン検査では見つけにくい肺がんが、早期に発見できる可能性がより高い。肺がん以外の疾患（肺結核、肺炎、肺気腫、気管支拡張症等）の早期発見にも結び付く。

2) デメリット

以下、他のがん検診とほぼ同様です。がんを必ず見つけられるものではなく、限界がある。低線量で安全であるとは言え放射線を受ける検査である。高精度の反面、「疑い」も多く拾い上げる為、確定迄、心理的負担を負ったり、必要のなかった精検や治療を受ける可能性もある。

9) その他

- 1) 胸部 CT 検査を受診する場合でも、法定の胸部レントゲン検査を省略することはできません。
- 2) 検査結果は、他の検査と同様に保健指導のため、健保組合と健康管理センター・医務室とで共有します。ご不安な点があれば相談をお受け致しますが、基本的に検査後に受け取る**検査結果表に記載の指導内容に従う**（要精密検査を放置しない等）ようにしてください。
- 3) この検査の実施及び実施内容は、医学的知見その他により見直されることがあります。
- 4) 現在喫煙を続けている方も受診できますが、この機会に喫煙習慣の見直しもお考えください。当健康保険組合では**卒煙にチャレンジ**をする方に、幅広い卒煙メニューのご提供や、手厚い費用助成を行っています。

検査装置の例（イメージ）

